



Japan Beyond Coal

石炭火力のない未来に

2021.9.30

Japan Beyond Coalの目的と活動

Japan Beyond Coal の目的

日本の石炭火力発電所を2030年までにゼロにしよう

気候変動の進行を止め持続可能なエネルギー社会を実現するために
日本の石炭火力発電所を2030年までにゼロにすることをめざすキャンペーン

Japan Beyond Coal の活動

Beyond-coal.jpをプラットフォームとした発信

- 国内の石炭火力発電所をマップ表示+データベース
- 全て「廃止」となることを目指してカウントダウン
- 関連する動向やパートナー団体の活動などの情報発信
記事は日英で150本以上！ファクトシートや動画などもアップしSNSで発信。



パートナー団体



運営責任団体：気候ネットワーク



2020年1月1日からカウントダウンのスタートは180基

- **運転中**の石炭火力発電所

スタート時点 **163基 49315MW (4931.5万kW)**

→ 建設中から運転開始したもの 4基 1386MW

運転中から廃止となったもの 2基 263MW

現状：**165基 50438MW (5043.8万kW)**

- **計画中・建設中**の石炭火力発電所

スタート時点 **17基 9924MW (992.4万kW)**

→ 計画中止となったもの 4基 2500MW

運転開始となったもの 4基 1386MW

現状：**9基 6013MW (601.3万kW)**

+ 1基 50万kW (明日アップ予定)



今月また新たな石炭火力が浮上

9月29日 GENESIS松島計画

燃料：石炭 設備容量：50万kW 場所：長崎県

<https://www.jpower.co.jp/sustainability/environment/assessment/matsushima.html>

第 2.2.3-1 表 発電所の原動力の種類及び出力

項目	現 状		将 来		
	1号機	2号機	1号機	2号機	
				既 設	新 設
原動力の種類	汽 力	汽 力	汽 力	汽 力	ガスタービン
出 力	50万kW	50万kW	50万kW	約40万kW	10万kW級
				合計 50万kW級	

- 注：1. 将来2号機の新設設備による出力は、新設する排熱回収ボイラーで発生する蒸気による出力約6万kW相当分及びガスタービン出力10万kW級の合計値である約16万kWである。
2. 将来2号機の既設出力は、蒸気タービン単体出力であり、新設する排熱回収ボイラーで発生する蒸気による出力約6万kW相当分を含む。

10月29日まで
環境アセス
意見募集中！

活動の成果!?

新規建設計画に対してプレッシャーをかけてきた結果、4基が中止に!

<計画中止> 4基2500MW

西沖の山 (山口県) 山口宇部パワー

USC 60万kW×2基

秋田港 (秋田県) 関電エネルギーソリューション、丸紅

USC 65万kW×2基

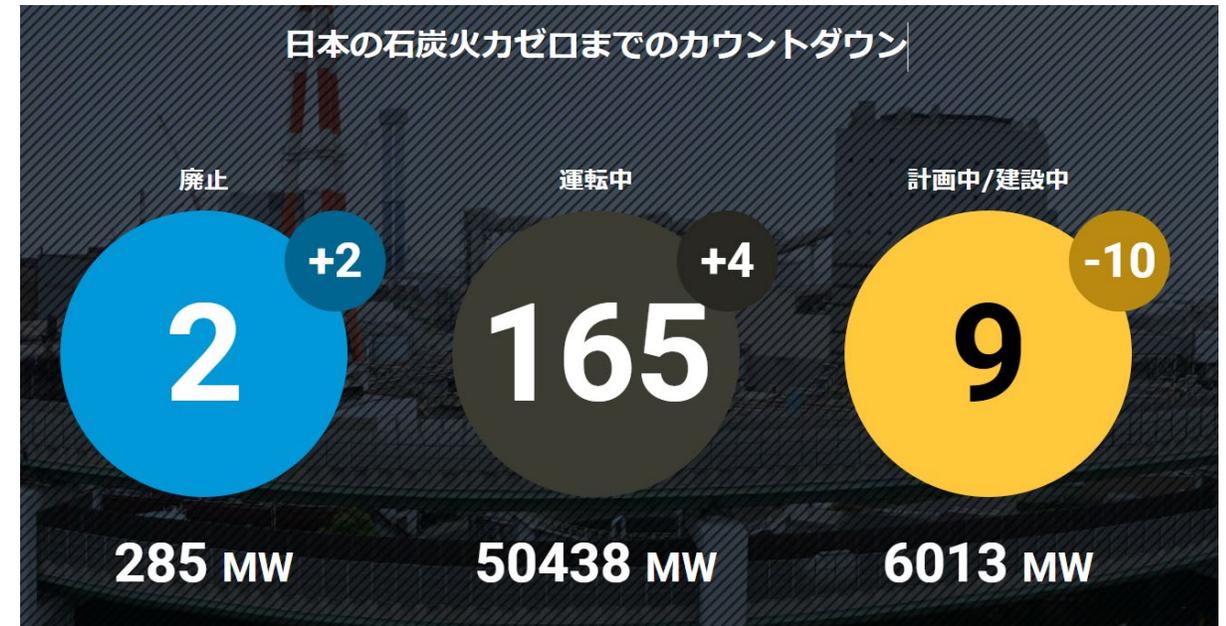
<廃止> 2基 263MW

勿来10号機 (福島県) 常磐共同

IGCC 25万kW

徳山製造所中央発電所 (山口県) トクヤマ

Sub-C 3.5万kW



活動の評価

- ・ 気候ネットワークの平田仁子さん、石炭火力に対する取り組みを評価されゴールドマン環境賞を受賞（2021年6月）



石炭火力への反対の運動はこの数年で非常に大きくなった。この受賞は、Japan Beyond Coalにかかわり、石炭火力の建設計画の中止を求める活動を展開してきた、気候ネットワークをはじめとする様々な環境団体のスタッフ、地域団体や住民の皆さん、国内外の法律家や専門家などの力が合わさったの結果である。

